

3-21. ウォーキングナビ

ウォーキングナビについて解説します。設定の手順は、ナビ走行（デモ走行）と全く一緒です。

① 地図を移動して行きたい場所を中心にします。



行きたい場所を表示するには、地図をタッチして移動して表示させる他に、ナビメニューにある検索機能や登録地点、履歴からも可能です。

② 地図画面の右下のボタンをタッチして「ナビ用パネル」を表示します。



地図画面

ナビ用パネル

③ 「ナビ用パネル」の「目的地」ボタンをタッチします。



ゴールの旗

ルート検索パネル

行きたい場所が目的地として設定されてゴールの旗が立ち、ルート検索パネルが表示されます。



- ④ ルート検索パネルの「ナビ走行」にタッチしてチェックを付けてルートの種類にある「ウォーキング」をタッチします。



- ⑤ 現在地から目的地までのルート検索が始まります。



現在地が分かっていないときは、衛星の捕捉が始まります。そこで現在地が確定した段階で、ルート検索へ進みます。多少の時間がかかります。

- ⑥ ルートが表示されたら「案内開始」ボタンをタッチします。あとは、ナビに従って走行します。



※ 現在地から目的地まで直線が引かれるので、目的地または経由地の方向が視覚的に分かり、大変便利です。

●ウォーキングナビの注意点

- ※「ウォーキング」を選んだ場合、徒歩走行に合ったルートになります。
- ※ ナビ中に音声案内は流れません。また、車両による道路交通規制の表示もされません。ご注意ください。
- ※ あくまでも歩行の目安として、実際の道路規制に従って、歩行してください。
- ※ ナビ画面をご覧になる際やナビ操作をするときは必ず立ち止り周囲の安全を確認してから行ってください。
- ※ ウォーキングモードは、自転車に使用できません。また、自転車専用道路地図は搭載しておりません。

3-22. 交通安全案内（安全運転支援情報表示機能）

交通安全案内について解説します。

本ナビは様々な交通安全情報が収録されており、その交通安全情報をもとに案内・警告して運転をサポートします。

●交通安全案内の切替

地図画面右上の「交通安全案内切替」ボタンをタッチすると、交通安全案内の切替え設定が表示され、案内する／しないを切替えることができます。



交通安全案内の切替え設定

※交通安全案内の切替えは、現在地表示中やナビ走行中は行えません。
その場合、地図を2度タッチして現在地表示やナビ走行を停止させてください。

地図上にゾーン30エリア、駐車禁止取締エリアの表示する／しないを切替えることができます。



事故多発エリア、速度取締エリア、Nシステム、オービスに近づいたとき、地図画面左側の警告画像および地図上のアイコンの表示する／しないを切替えることができます。



ゾーン30エリア、駐車禁止取締エリア、事故多発エリア、速度取締エリア、Nシステム、オービスに近づいたとき、または、エリアの中にいるとき、音声案内（警告）をする／しないを切替えることができます。



音声案内する



音声案内しない

●交通安全情報について

※下記の各交通安全情報に示す全ての場所が収録されているわけではありません。

【ゾーン30エリア】

生活道路における歩行者や自転車の安全な通行を確保することを目的とした区域で、時速30キロの速度規制となっている区域

【駐車禁止取締エリア】

各警察署が定めた重点的に駐車禁止を取り締まる区域または路線

※路線については音声案内のみで、表示は行いません。

【事故多発エリア】

過去に事故が多発した場所

【速度取締エリア】

過去によく速度取締りが行われた場所

※時間・場所が不定で行われる速度取締り

【Nシステム】

道路上に設置された自動車のナンバーを読み取る装置

【オービス】

道路上に設置された自動車の速度を計って記録する装置

※本機能の情報は、季節、時間やその他の環境や状況によって変わる場合があります。

安全運転の参考にしていただき、現場状況を優先してご利用ください。

Q、現在地が表示されません。

現在地はGPSを受信して表示しますが、数分程度かかる場合もあります。GPSの電波が上手く受信出来ていない可能性もございますので、衛星配置図を確認して、受信状態の良い場所へ移動する等してみてください。

Q、ルート検索に失敗します。

ルート検索に失敗する場合は、出発地と目的地をずらす等して再度、検索してみてください。また、実際のナビ走行では、出発地はGPSから受信した現在地になりますので、GPSの受信状態を確認してみてください。

Q、ルート検索の結果がいつも通っているルートと違います。

ルートはナビソフトが計算した結果を表示しています。ルートによってはどうしてもお客様が望まれる結果にならない場合もございます。3種類あるルートの計算方法を変える等してみてください。結果のルートを変更する事は出来ませんので、予めご了承下さい。

Q、自車とナビとの位置と進行方向が違うときがあります。

GPSのアンテナの性能や受信状態によって、位置にずれが生じたり、進行方向が安定しない場合がございます。予めご了承下さい。

Q、検索しようとしても目的の場所が出てきません。

検索のデータが全てをカバーしていませんので、お客様が探している目的の場所が表示されない場合がございます。その場合お手数でございますが、近くの場所の地図を検索してから地図上をタッチして目的の場所へ移動する等して下さいますようお願い申し上げます。

Q、音声流れません。

ナビメニューの左下が「音声ON」の表示でボリュームがゼロでないことと、本体の音声ミュート状態（無音）になっていないか、このふたつを確認して下さい。

Q、検索したルートに違和感がある。

ナビのルート計算は使用する道路の規模や施設などを参考になるべく違和感の無いように本線優先でのルート案内を判断する様に作成しておりますが、例えば現在走行中の道路に対し側道に案内をして再度現在走行中の道路に戻されるルートを引く場合など実際の走行経験から考えますと違和感があるルートになる場合があります。

Q、20XX年の地図とあるのに、同年に開通した高速道路が地図にありません。

開通日と地図のリリース日が近くて、収録に間に合わなかったためです。地図データを更新するには、実地調査やデータ作成、さらに整合性のチェックなど、ある程度の期間を要するため、実質それより少し前の状態が収録されているとお考え下さい。

逆に、完成予定の道路を先取りして収録するケースもございますので、地図データの更新が必ずしも一律ではないことを予めご了承下さい。

Q、地図の道路の色を変えることはできますか。

道路に限らず、地図の配色をユーザーが変更することはできません。

見えづらい場合は、昼モードと夜モードを切り替えたり、地図の縮尺を変えたりして下さい。

Q、地図に道路や交差点の名前を表示する方法はありますか。

地図に道路や交差の名前を表示することはできません。そのような地図になっています。

ただしルートを引いてナビ走行をしているときに、現在走行中の道路や、その先の交差点にデータが存在する場合に限り、画面下に道路名、画面右上に交差点名が表示されます。

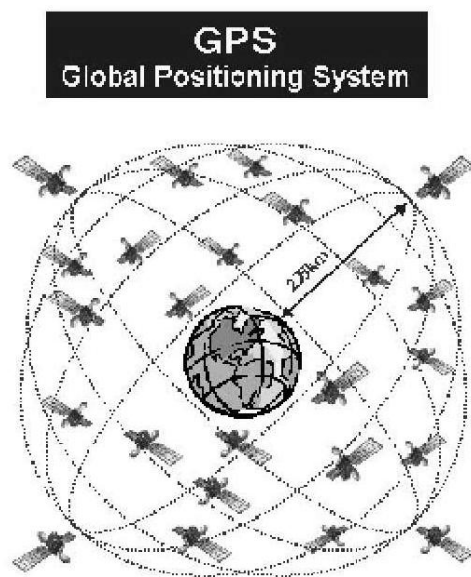


4. 制限事項

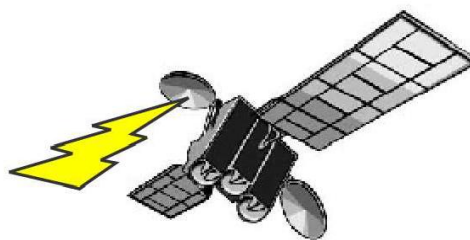
本製品には、以下の制限事項があります。

- ①本製品は、GPSの測位によりナビゲーションを行っています。
従って、GPSの測位が出来ない場所（室内や電波の入りづらい屋外等）では利用できません。
- ②GPSの受信状況により車両の位置が地図に描かれた道路上に正しくない場合があります。
- ③特にルートを設定しないフリー走行の場合、道路からはみだしたり、実際とは異なる道路上を走行する場合があります。
- ④ルート案内はあくまでも目安であり、日時規制を考慮しています。
ただし、車種は考慮していません。
- ⑤目的地までの距離、所要時間、到着予定時刻は、あくまでも目安としてご利用ください。
- ⑥フェリーを使ったルート案内は行っていません。
- ⑦細街路もルート検索の対象です。ただし、細街路の整備状況は地図データによるため、ルート検索の対象外となる細街路もあります。
- ⑧自動リルートが行われるタイミングは状況により異なります。ルートから離れた距離によって一律に行われるわけではありません。
- ⑨一般道優先でルートを引いた場合、一般道を優先しますが、必ずしも一般道だけでルートを引くわけではありません。
- ⑩本機のルート案内において、時間規制表示等の交通ルールが定められている場所では、そこでの交通ルール表示に従って走行してください。

5. GPSの基礎知識



【GPS】Global Positioning System
人工衛星を使った全地球測位システム。
宇宙部分（6つの異なる軌道に24の衛星
NAVSTAR）、制御部分（5つのモニター
局、1つの主制御局、3つのアップロード
局）、ユーザー部分（GPS受信機）で
構成されている。



【NAVSTAR】NAVigation satellite Timing And Ranging

GPS衛星に付けられた名前。NAVSTAR衛星は、軌道高度約20,000km、周回周期0.5恒星日（約11時間58分）、6枚の軌道面に4個ずつ合計24個の衛星で全システムを構成し、複数のセシウムおよびルビジウム原始時計を搭載している。

【アルマナックデータ】Almanac Data

利用可能な全衛星の概略の軌道周回情報で、1度取得すれば、1週間程度利用できる。

【エフェメリスデータ】Ephemeris Data

現在位置を担当する観測衛星の詳細な軌道周回情報で1度取得すれば、1時間程度利用できる。エフェメリス・データを利用して衛星の位置を求め、現在位置を計算する。

【ホットスタート】Hot Start

エフェメリスデータ、アルマナックデータ、時刻データ、前回測位データが有効な状態で測位を開始すること。

【ウォームスタート】Warm Start

詳細な軌道データはないが前回測位時の衛星捕捉に関するデータを利用して、衛星の捕捉を開始することで衛星の捕捉時間を短縮できます。

【コールドスタート】Cold Start

前回の測位から1ヵ月以上過ぎている場合や、前回の測位地点から500km以上離れた場合でGPSを行うときは、新しく衛星軌道情報を収得して初期状態から測位を開始する。

6. お問い合わせ先

サポートセンターのお問い合わせ先は下記になります。

※電話番号の掛け間違えの無いように十分ご注意願います。

お問い合わせ先	
電話	<u>050-1724-4342</u>
営業時間	平日 10：00～17：00 (土日祝祭日は休み)

＜製造元＞ ワックスベリー株式会社

＜販売元＞ ダiamondヘッド株式会社

〒108-0073 東京都港区三田2-7-13 TDS三田ビル6F

〈販売元〉ダイヤモンドヘッド株式会社

〒108-0073 東京都港区三田 2-7-13 TDS 三田ビル6